

平成28年度嚶鳴広場講演会

～女子教育の先駆者・下田歌子～ 揺りかごを動かす手は世界を動かす

日時：平成28年7月9日（土） 14:00～15:30

場所：東海市芸術劇場 2階 嚶鳴広場(定員70名※先着順)
(愛知県東海市大田町下浜田 137 番地ユウナル東海内)

講師

湯浅 茂雄 氏 (実践女子大学下田歌子研究所長)

【内容】

下田歌子の思想や業績を基に、子育て世代の女性たちに、家庭のあり方や女性の生き方、悩みなどのヒントについて発信すると共に、男女共同参画社会の実現と女性のキャリア支援に関する活動について

下田歌子について

日本の女子教育の先駆者で、歌人としても名高い下田歌子は、安政元年（1854年）美濃国岩村藩（現在の恵那市岩村町）に生まれました。幼い頃より和歌を詠み、漢詩を吟ずるなど学才に恵まれ、明治4年16歳のとき上京。翌年宮中に女官として出仕し、その和歌の才能を愛でられた皇后陛下（後の昭憲皇太后）から歌子の名を賜りました。明治12年に宮中を辞した後、明治32年に私立実践女学校（現在の実践女子大学）と女子工芸学校を創立しました。その後も、女性の自立自営をめざして、裁縫学校や夜間学校を各地に設立するなど、新しい時代の女子教育に一生を捧げ、昭和11年82歳の生涯を閉じました。下田歌子が遺した言葉「女性の清らかな徳性と豊かな情操をもって社会の弊を正せ」や「揺籃（ようらん）を揺がすの手は以て能く、天下を動かすことを得べし」に代表されるように、高い志を持って近代日本の女性の地位向上に力を尽くしました。 ※「揺籃」とはゆりかごのことです。



※ 実践女子大学図書館所蔵

【講演会申込先】

申込期間：6月15日～7月1日
東海市教育委員会 社会教育課
電話番号 052-603-2211
E-mail shakyou@city.tokai.lg.jp

【同時開催】

下田歌子特別展示・・・「家族」をテーマにした教育者・歌人の下田歌子の人生と言葉を紹介します。
展示期間：6月27日（月）から7月20日（水）まで